再生屋から診る

# 九州農業の可能性と課題

**田畠 光一**

株式会社Credoa CEO

2026年5月26日（火）15:00～　｜　実践アジア社長塾　特別公開講義 第52回

主催：一般社団法人アジアビジネス連携協議会

# 本日の講義内容

**01**
## 自己紹介
弁護士から再生屋へ —— 20年の歩み

**02**
## 事業再生の要諦
20年の経験から見出す3つのポイント

**03**
## 九州の中小農家の現状
データが示す課題と現実

**04**
## 農業再生のキーワード
出口戦略・ロジスティクス・分業化

**05**
## 九州農業の未来図
企業化が拓く新しい世界

# 01　自己紹介

## 田畠 光一

株式会社Credoa CEO

| | |
|---|---|
| **300社+** | 取扱案件数 |
| **3,000件+** | 累計相談件数 |
| **20年** | 再生実績 |

**昭和50年生まれ**
**現在、５１才**

香川県出身。実家はうどん屋。九州工業大学卒業

**就職**

株式会社日立製作所入社（上下水道プラント営業）→
2年で退社

**転身**

司法試験合格・弁護士登録
中小企業再生・再建に専念

**転機**

波佐見焼の民事再生をスポンサーなしで完遂
第二会社方式などの独自スキームを確立

**現在**

株式会社Credoa CEO として10数社の中小企業再建中
農業法人の再生にも着手

# 02　20年の経験から見出す　事業再生の要諦

## 日本の中小企業の現状

| 336万者 | 約70% | 185社 |
|---|---|---|
| **国内中小企業数** | **中小企業が雇用** | **福岡市内大企業** |
| 企業全体の99.7% | 日本の雇用の大半 | 県内約99,000社中 |

⚠ 中小企業不振の典型パターン：社長の「先送り病」＝現実を見ようとしない姿勢

## 再生・再建の要諦 3か条

**1 キャッシュフローの見極め**
まずプラスかどうかを確認。これがすべてのスタート地点

**2 早めの決断**
余力があるうちに次のチャンスをつかむ準備を

**3 グループ化・グループイン**
独自路線ではなく、連合体として規模のメリットを獲得

# 03　九州の中小農家の現状

| 31万戸 | 50.2万ha | 年商3,000万円 |
| --- | --- | --- |
| 九州農家数 | 耕地面積 | **農水省のいう「大規模」基準** |
| （農水省データ） | 全国の約12% | 他業種では零細レベル |

農水省の「大規模＝3,000万円」という目盛り自体がおかしい。年間売上チャンスが1～2回しかない商売で、これでは毎年誰もが「背水の陣」経営。

## 根本的な構造問題

**失敗できない → 進化できない**

年1回の収穫。新手法を試して失敗すれば翌年の生活が成り立たない

**惰性の作物選択**

「なす」農家はずっと「なす」。市場価格が不安定でも転換できない構造的な罠

**JA依存のワナ**

販売先の選択肢が実質的にJAのみ。出口戦略の自由がない

# 04　農業再生のキーワード

1

## 出口戦略を見直す

- ▶「誰に売るか」を明確にしてから「何を作るか」を決める
- ▶ 作物変更は莫大な先行投資が必要 → 初期の選択が致命的に重要
- ▶ JA依存から脱却し、自律的な販売ルートを構築する

2

## 産直共販ロジスティクスの構築

- ▶ スーパー・飲食店は農家直買いを望んでいる（安くて新鮮）
- ▶ 現在：スーパー＋物流会社＋運送会社＋農業法人が協働で新ロジ構築中
- ▶ 青果市場を再構築 → 生産者と消費者が直結する仕組みへ

3

## 分業化

- ▶ 生産計画を立てる人・生産効率を改善する人・実践する人…役割を分ける
- ▶ 一人に全責任を負わせる現状が離脱の原因
- ▶ 分業が実現すれば「農業で働きたい」人材が増える

# 05　九州農業の未来図

**実例：九州産いちご → 中東輸出　1箱（4パック）＝2万円**

農業が企業化すれば、中東・東南アジア・ヨーロッパへの販路拡大が現実になる

### 農業の企業化

年商億超えの農業企業が多数誕生
「零細」を前提とした農政からの脱却

### 中間流通の排除

作った人が直接売る時代へ
一番きつい作業をした人が最大の利益を得る

### 海外市場への進出

組織的な生産体制で海外輸出が現実に
九州の地の利を最大限に活用

**農業を「事業」に、農家を「企業」に変える —— その挑戦がいま始まっている**

# ご清聴ありがとうございました

再生するかしないかは、結局、当事者・本人の心や気持ちひとつです。
自分が絶対にあきらめないという気持ちが維持できれば、
必ずご自身が納得できる未来がきます。

握りしめているこぶしを開けば、新しいチャンスが入ってくる。

**田畠 光一　/　株式会社Credoa CEO**

累計300社以上の企業再生実績　｜　相談件数3,000件超　｜　農業法人の再生にも着手

実践アジア社長塾　特別公開講義 第52回　｜　2026年5月26日（火）